

第11回 こども10円商店街 実施報告書

NPO 法人 まちなびや

◇事業趣旨

子どもが商品販売やサービスを提供する「自分の店」を企画運営する体験を通して、多世代の人々との関わりを学習する。また、大人がお客となってこども店長を応援することで、地域の教育力向上を目指す。

◇実施内容

1 第1回店長会議 9月29日(日) 9:30~11:30

静岡市番町市民活動センター 大会議室

参加者 こども店長 20名 保護者 10名 スタッフ 6名

- ・保護者・こども合同ガイダンス
- ・販売品・提供サービス、店名を決める
- ・あいさつの練習
- ・看板(のぼり旗)作り

※11:30~14:00まで、昼食後に商品・看板製作(希望者13名ほど)



2 第2回店長会議 10月6日(日) 9:30~11:30

静岡市番町市民活動センター 大会議室・中会議室

参加者 こども店長 25名 スタッフ 6名

- ・販売リハーサル・売上表記入練習

※11:30~14:00まで、昼食後に商品・看板製作(希望者11名ほど)

3 こども10円商店街本番 10月20日(日) 10:00~12:00・12:00~14:00

静岡市番町市民活動センター 大会議室前 入口スペース

参加者 こども店長 20名 スタッフ 7名 しずおか焼津信用金庫 10名

一般来場者約 2,600名

- ・販売、サービスの提供 → 総売上 7995円
- ・両替対応・売上集計(協力:しずおか焼津信用金庫)



<出店一覧（全8店舗）>

販売系	ゲーム・くじ系
ミサマガショップ	ゆかダーツ
S.Y 雑貨 YA	あてろ！てっぼうや
	むずいしやてき
	ドキドキひもくじ
	ようかいバスターズ
	スマイルテッポウ

4 第3回店長会議 11月3日（日） 9：30～11：30

静岡市番町市民活動センター 大会議室

参加者 こども店長 13名 スタッフ5名 寄付先2団体2名

（しずおかおちゃっこ会倉橋様、柚プロジェクト坪井様）

- ・寄付先団体からのプレゼンテーション

→こども店長による投票・寄付金贈呈式

※金額：（しずおかおちゃっこ会 4,395 円、柚プロジェクト 3,600 円）

- ・振り返り（3～4店舗ずつのグループで意見交換）
- ・スペシャル商店街（5店舗出店）



◇広報

- ・店長募集チラシ（2000部×2 総計4,000部配布）

小学校 3,540部（新通小 250部×2・番町小 600部×2

田町小 340部・附属小 750部×2）

静岡市番町市民活動センター 100部

しずおか焼津信用金庫 100部

まちなびや関連 260部

- ・店長募集の案内をコードモンデ 42号に掲載（30,000部）、市内小中学校に配布

◇事業の成果

1：子ども自身がどんなモノ・サービスが提供できるかを考える大切な機会となった

本番前の店長会議2回で、接客やお金の扱い方など、お店運営のために必要な知識を学んだ。お店づくりでは、グループの中で店の内容や手順などを話し合い、リハーサル等行い準備を重ねた。本番ではお客様を積極的に呼び込むこともでき、店長会議の成果が表れた。

最後の店長会議で行ったスペシャル商店街で、本番忙しかった店長たちは、お客となってゲームや買い物を楽しむことができた。お店を開いた店長たちは本番を振り返りながら楽しく接客を行っていた。このように10円商店街をお客の立場からも体験するということが、最後の振り返り活動として有意義であったと考える。

2：売上を寄付したことにより、人の役に立つことを実感できた

本番の売上金は、寄付先候補団体のプレゼンテーションを聞き、子どもたちが意味あると感じるところに票を投じた数に合わせた金額を寄付した。自分たちが暮らす地域の中で、小さいけれど人の役に立つ活動をしている団体に対して、子どもたちは投票先を真剣に悩み考え、決めることができた。自分で稼いだお金の寄付先を決定するという行為は、誰かの役に立つことを意識する貴重な体験となる。

3：本事業に対する子どもたちの満足度が高い

子どもたちには、リハーサルを通じて軌道修正をし、本番までにお店の準備をしっかりとってきた。最終回のふりかえりで、「お客さんがいっぱいきてくれた」「いろんな人がきてがんばって作った景品が売れてよかった」「店長同士友達になった」といった発言があり、子どもたちがやってよかった、と感じたことが伺える。前回同様、店長会議にてこども店長が主体的に活動できる場面を多く設け、本番でお店をやり遂げたことによって、達成感が大きかったのではないかと考える。

一方、今後の課題として、下記が挙げられる。

●店長ノートの活用

第10回こども10円商店街より、店長ノートを配布し、毎回の店長会議で活用している。しかし、今回はそもそも店長ノートを忘れてしまう子がいて、ふりかえりが出来なかったり、必要な持ち物の確認ができなかったことがあった。ふりかえりは写真を撮る手間もかかるため、今後はノートから外し、別途配布・回収する形に戻し、より必要と思われるページを追加する。10円商店街を通じて自分が成長したことがわかる大切なノートとして、仕上げていけるようにしたい。

◇実施体制

主催：NPO 法人まちなびや

協力：静岡市番町市民活動センター、しずおか焼津信用金庫、千代田スクール

静岡大学教育学部塩田研究室

◇後援 静岡市教育委員会

◇大人スタッフ

板倉りえ子、多々良直樹、田中知子、戸谷雄一、
廣瀬拓哉、村田優、弓削幸恵、勝村明 計8名

